

愛 知 大 学

◇ 経営・経済・現代中国・国際コミュニケーション・地域政策・文(歴史地理, 日本語日本文, 人文社会(現代文化コース, 社会学コース, 欧米言語文化コース), 心理)・法 ◇

— 2月5日実施 —

時間 60分

(問題) 全3問

1 以下の設問に答えよ。**2万5000分の1の地形図のみ実測図** それ以外は編集図

問1. 2万5千分の1地形図について述べたものとして、適切なものを次のなかから二つ選び番号で答えよ(順不同)。

① 農林水産省が設置する機関である国土地理院が発行している。

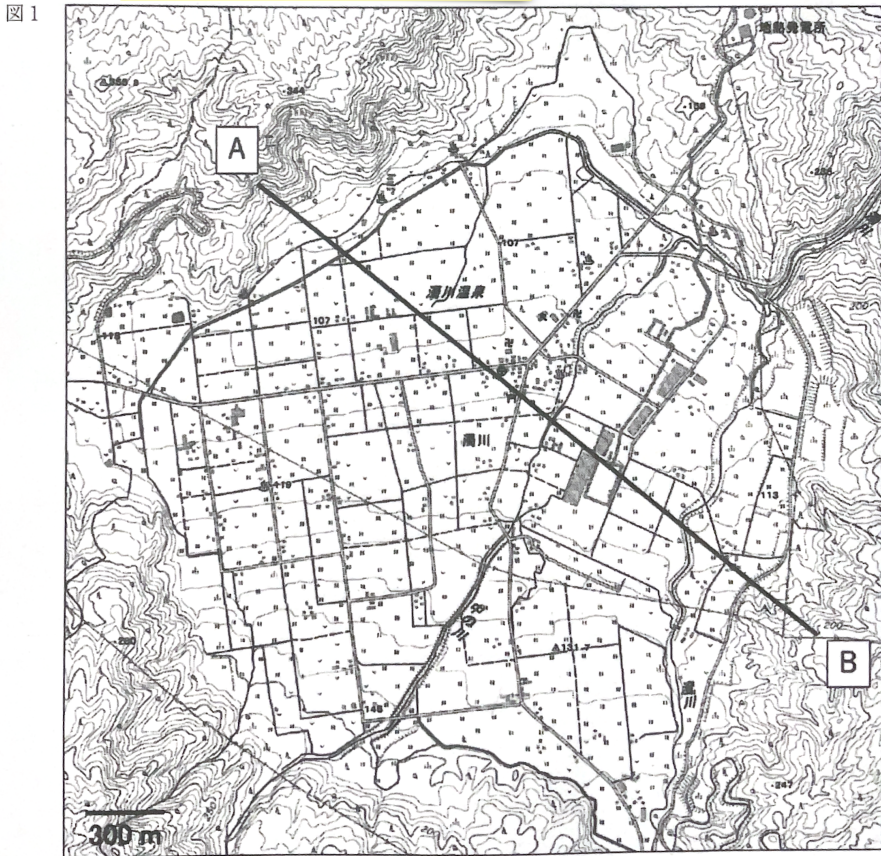
② 主曲線は10m間隔である。 ③ 計曲線は100m間隔である。

④ 編集図である。

⑤ 老人ホームを示す地図記号がある。

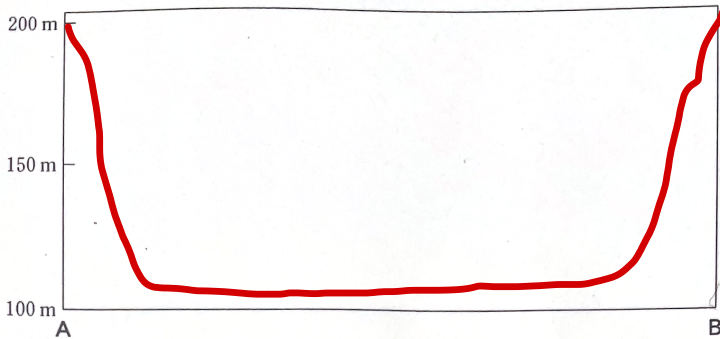
老眼には辛い！

問2. 2万5千分の1地形図および5万分の1地形図上で10cmのとき、実際の距離はそれぞれ何kmか答えよ。 **1/25,000地形図→4cmで1km** 2.5km 5km



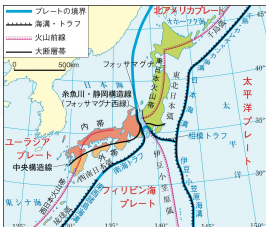
出典：地理院地図

問3. 図1の地形図中 AB間の地形断面図を下に作成せよ。



問4. **【論述問題】** 図1の中央に広がる平坦な地形はどのように形成されたと考えられるか。またこの地形図のどのような点からそう判断できるか答えよ。(編集部注: 解答欄は形成過程, 判断基準それぞれ天地 2 cm × 左右12cmの枠) **良問**

図2



問5. 図2において、国内の地熱発電所の位置を示したシンボルとして、適切なものを次のなかから一つ選び番号で答えよ。

- ① ○ ② ● ③ ▲ ④ □ ⑤ +

問6. 2019年における日本の総発電量に占める地熱発電の割合として、適切なものを次のなかから一つ選び番号で答えよ。

- ① 約70% ② 約50% ③ 約30% ④ 約10% ⑤ 1%未満

2 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。

穀物類は世界各地で主食として消費されるほか、家畜の飼料や①酒類の原料など幅広い用途に活用されている。穀物のなかには、近年②バイオエタノールの原料として期待されているものもある。主食として食文化の基幹となることから、③世界各地で穀物を用いた特徴的な料理がみられる。

表1は、2019年の主要穀物の国別生産量の上位5か国を示したものである。穀物類は広く世界中で栽培されているが、土地の気候や経済状況等に影響されて栽培される作物には地域的な偏りもみられる。中米原産の[A]の栽培はアメリカ大陸で比較的盛んであるし、[B]や[C]が比較的高緯度帯に位置する国でも栽培されているのには、作物の耐寒性の高さが関係している。[D]の生産量上位には温暖で降水量の多い国が並んでいる。④国土のなかに熱帯・温帯・亜寒帯の地域を含む[A]においては、

地
理

国土の南東部では **D** が、中部では **C** が、北東部では **A** やコウリヤンが主に栽培されている。
 このように、⑥一つの国の中でも地域によって栽培される主要な穀物が異なることもある。

表1 2019年の主要穀物の国別生産量上位5か国

生産量の順位	米	小麦	大麦	とうもろこし
1位	A	A	ウ	アメリカ合衆国
2位	イ	イ	フランス	A
3位	インドネシア	ウ	ドイツ	ブラジル
4位	バングラデシュ	アメリカ合衆国	カナダ	アルゼンチン
5位	ベトナム	フランス	ウクライナ	ウクライナ

出典：地理統計要覧2022年度版

全て暗記して
 てるよね。

問1. 空欄 **A**・**イ**・**ウ** にははまる国名をそれぞれ答えよ。**A 中国 インド ウロシア**

問2. 空欄 **A** から **D** にははまる穀物名として、適切なものをそれぞれ一つずつ選び番号で答えよ。

- ① 米 ② 小麦 ③ 大麦 ④ とうもろこし **A④ B③ C② D①**

問3. 下線部③について、大麦を主な原料にした酒類の名称を一つ答えよ。**ビール、ウイスキー**

問4. 下線部⑥のバイオエタノールの原料として、適切でないものを次のなかから一つ選び番号で答えよ。

- ① 小麦 ② てんさい ③ とうもろこし **④ 牛乳**

底辺校の定期考査の問題！

問5. 下線部④に関連して、世界各地の料理を説明した文として、適切なものを次のなかから一つ選び番号で答えよ。

① ベトナムのフォーは米粉でつくった麺である。

② 近年日本でも流行したタピオカはとうもろこしの粉からつくられる。**キャッサバ**

③ フランスパンが固いのは、大麦からつくられているためである。**小麦**

④ ウクライナの郷土料理として有名なボルシチは一般的に小麦からつくられる。**アメリカ**

問6. 下線部④に関連して、**A**以外で、国土に熱帯・温帯・亜寒帯の地域を含む国を一つ答えよ。

問7. **論述問題** 下線部⑥に関連して、**イ**でも栽培される主要穀物の地域性がみられるが、それを具体的に説明せよ。(編集部注：説明の解答欄は天地2cm×左右14.8cmの枠)

3 次のAからDは、アジアに位置する四つの国について述べたものである。これらの文章を読み、あとの設問に答えよ。

A 畜産を主要な産業とし、遊牧が盛んなモンゴルでは、**A**と呼ばれる移動式住居が伝統的にみられてきた。しかし、1992年の市場経済への移行にともなって、急速な経済成長がみられ、高層ビルが建ち並ぶ**イ**などの都市部においては定住化が進んでいる。

B 韓国の首都ソウルは、日本の福島県や新潟県と同程度の緯度に位置するが、寒冷で乾燥した**ウ**気団の影響により、冬の寒さは非常に厳しい。そのため、この国では⑥**伝統的な暖房装置**がみられ、家屋の庭先には煙突が設けられている。しかし近年では、これも温水パイプや電気ヒーターを用いたものが主流となっている。

C ⑥**ICT**産業が急速に発達したインドは、近年目覚ましい経済発展を遂げている。一方、農村では貧困家庭が多く、働き手の確保のため、高い出生率が続いている。就業機会を求めて都市部に流入した多くの貧困層は、教育水準が低いこともあり十分な仕事に就けず、郊外に**エ**を形成して劣悪な環境で生活している。

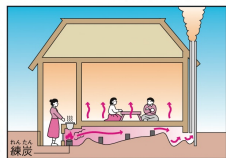
D **チャオプラヤ川**の河口部に肥沃な三角州を有し、世界屈指の稲作地帯となっているこの国は、**オ**の影響を強く受けるため、夏季の降水量が特に多い。このような気候に対応した伝統的な住居形態として、⑥**高床式住居**が挙げられる。

問1. Aの文章中の**A**と**イ**にははまる住居の名称と、この国の首都の名称をそれぞれ答えよ。

A：ゲル イ：ウランバートル

- 問2. Bの文章中の□ウにあてはまる語句を答えよ。**シベリア**
- 問3. Bの文章中の下線部㉓の名称を答え、その仕組みを説明せよ。(編集部注：説明の解答欄は天地1.7cm × 左右11.2cmの枠)
- 問4. Cの文章中の下線部㉖を日本語の名称で答えよ。**情報通信技術**
- 問5. Cの文章中の□エにあてはまる、不良住宅が集まる地区を示す語句をカタカナで答えよ。**スラム**
- 問6. Dの文章が示す国名と、□オにあてはまる自然現象をカタカナで答えよ。**タイ モンスーン**
- 問7. **論述問題** Dの文章中の下線部㉔の構造的な特徴と利点を説明せよ。(編集部注：解答欄は天地2.5cm × 左右14.8cmの枠)

オンドル：床下にかまどの煙や温水などを送り、床から部屋全体を温める



大問1 問4

形成過程：やや規模の大きい火山噴火によって、火口が陥没して形成された。

判断理由：地熱発電所や濁川温泉の存在などから火山地域と考えられ、この火山地域の急斜面で囲まれた中央に広がる円形の平坦地は、カルデラと判断できる。

大問2 問7

年間降水量1000mmを超えるヒンドスタン平原や沿岸部は稲作地帯となっている。年間降水量1000mmを下回るパンジャブ地方などの内陸部では小麦栽培が盛んである。

他、デカン高原の綿花栽培や東部

大問3 問7

地上または水上に立てた柱の上に床板を張った住居。通風性に優れ、熱帯地方の湿潤な気候に適している。また、洪水時の浸水や害虫などの侵入を防ぐことができる。